

第4章 研究発表目録

1. 著書

発表者(発表年)・書名・発行・頁

野口将之*、由井正敏*、柳川雅文*、前田 琢 (2007)・イヌワシの狩場の創出(岩手県・新潟県)・自然再生への挑戦(応用生態工学序説編集委員会編)・学報社、p109-121.

2. 学術雑誌原著論文

発表者(発表年)・題目・掲載紙・巻(号)・頁

小山田智彰、平塚明* (2007)・よみがえる南部ムラサキ-1-南部紫根染からみたムラサキ栽培の系譜・薬用植物研究・29-2号・47-53

石間妙子*、関島恒夫*、大石麻美*、阿部聖哉*、梨本真*、井上武亮*、前田 琢、由井正敏* (2007)・ニホンイヌワシの採餌環境創出を目指した列状間伐の効果・保全生態学研究・12:118-125.

Y. Matsuura*, M. Suzuki*, K. Yamauchi et al. Prevalence of antibody to hepatitis E virus among wild sika deer, *Cervus nippon*, in Japan. *Archives of Virology*. 2007. 152: 1375-1381.

松原和衛*、西村貴志*、出口喜隆*、山内貴義ほか・孤立林分に生息するニホンカモシカ(*Capricornis crispus*) - その生態研究と野生動物医学研究 - ・野生動物医学会誌・2007.12: 27-34.

山内貴義、工藤雅志*、高槻成紀*・岩手県におけるニホンジカの保護管理の現状と課題・哺乳類科学・2007. 47: 39-44.

3. 総説・報告等

発表者(発表年)・題目・掲載紙・巻(号)・頁

岩淵香織、高橋朱実、松館宏樹、高橋雅輝、藤井伸一郎、蛇口哲夫、秋田県健康環境センター(八柳潤*、齋藤志保子*)、国立感染症研究所(高橋元秀*、見理剛*)・(2008)・岩手県で発生したボツリヌス食中毒事例について・病原微生物検出情報・29巻(2号)・4頁

岩手医科大学(赤坂真奈美*、亀井淳*、千田勝一*)、岩淵香織、高橋朱実、松館宏樹、高橋雅輝、藤井伸一郎、蛇口哲夫、秋田県健康環境センター(八柳潤*、齋藤志保子*)、国立感染症研究所(見理剛*、高橋元秀*)・(2008)・症状消失まで長期間を要したボツリヌス症・病原微生物検出情報・29巻(2号)・5頁

高橋朱実、松館宏樹、高橋雅輝、岩淵香織・藤井伸一郎・蛇口哲夫・(2007)・汚水処理施設におけるノロウイルスの消長・病原微生物検出情報・28巻(10号)・13頁

高橋朱実・(2007年)・流入下水中ノロウイルス濃度から推察されるノロウイルス胃腸炎の流行状況と下水処理によるノロウイルス除去について・厚生労働科学研究費補助金食品中のウイルスの制御に関する研究19年度研究報告書・113頁

高橋雅輝・(2008)・腸管出血性大腸菌のPFGEとIS-printingを用いた解析研究評価・厚生労働科学研究費報告書

松館宏樹(2007)・実地疫学専門家養成コースについて・獣医学雑誌・11(2)・114-115

山根正子*、鈴木和美*、辻本恒徳*、渡邊芳明*、生澤充隆*、前田琢(2007)トラフズク救護幼鳥2羽の放鳥事例と死亡事例・第13回日本野生動物医学会大会・(盛岡市 2007,9,8)。

前田 琢、由井正敏* (2007)・北上高地におけるイヌワシの出現頻度と植生タイプの関係・2007年度日本鳥学会大会(熊本市 2007,9,22)。

4. 学会等での口頭発表

発表者(発表年月)・学会等名称・開催都市名

蛇口哲夫、松館宏樹、高橋雅輝、高橋朱実・(2008)・浄化槽におけるノロウイルスについて・日本水環境学会・名古屋市・2008年3月

岩淵香織・(2007年)・岩手県で発生したボツリヌス食中毒事例について・北海道東北新潟ブロック衛生微生物協議会・新潟市・2007年10月

高橋朱実、松館宏樹、高橋雅輝、蛇口哲夫・(2008)・汚水処理施設におけるノロウイルスの消長・日本水環境学会・名古屋市・2008年3月

高橋雅輝、高橋朱実、松館宏樹、岩淵香織、藤井伸一郎、蛇口哲夫(2007)・狂犬病対策のための効果的な啓発活動のあり方・日本獣医公衆衛生学会(東北)・仙台市・2007年9月

松館宏樹(2007)・人の感染症対策における獣医師の役割・第143回日本獣医学会学術集会・つくば市・2007年4月

松館宏樹(2008)・薬剤耐性菌感染症 サーベイランス・岩手県抗菌薬適正使用推進研究会第一回講演会・盛岡市・2008年1月

畠山えり子、阿久津千寿子、梶田弘子、菅原隆志、高橋悟、佐々木陽、小向隆志(2007)・ELISA法による茶葉中の残留農薬同時分析・日本農薬学会第32回大会・東京・2007年4月1-4日

畠山えり子、阿久津千寿子、梶田弘子(2007)・LC/MS/MSを用いた茶中の残留農薬一斉分析における前処理方法の検討・第94回日本食品衛生学会・静岡・2007年10月26, 27日

*: Non staff members.

畠山えり子、阿久津千寿子、梶田弘子、菅原隆志(2007)・茶中の残留農薬実態調査について・第44回全国衛生協議会年会・三重・2007年11月15,16日
 高橋 悟、小向隆志(2007)・岩手県の水道水質検査機関を対象とした農薬に関する外部精度管理について・第44回全国衛生化学技術協議会年会・三重県津市・2007年11月15-16日
 佐々木 陽(2007)・使用済みコンクリート型砕炭化物による水道水源の農薬類の除去・木質炭化学会・鹿児島県歴史資料センター・平成19年5月23日(水)~24日(木)
 佐々木 陽(2007)・無機成分複合炭化物による吸着特性・日本木材学会・安田女子大学(広島市)・平成19年8月8日(水)~8月10日(金)
 梶田弘子、阿久津千寿子、畠山えり子(2007)・強・弱カチオン交換カートリッジカラムを用いたLC/MS/MSによるアミノグリコシド系抗生物質の一斉分析・第93回日本食品衛生学会・東京・2007年5月
 梶田弘子、千葉正*、畠山えり子(2007)・ろ過膜を用いたLC/MS/MSによる畜水産物中の動物医薬品一斉分析・平成19年度日本獣医公衆衛生学会(東北)・仙台・2007年9月
 梶田弘子、畠山えり子(2007)・マルチモード系ポリマーゲルカラムを用いたLC/MS/MSによるアミノグリコシド系抗生物質の一斉分析・第19回クロマトグラフィー科学会議・函館・2007年11月
 梶田弘子、千葉正*、畠山えり子(2008)・ろ過膜を用いたLC/MS/MSによる畜水産物中の動物医薬品一斉分析・日本獣医師会年次大会日本獣医公衆衛生学会・高松・2008年2月
 齋藤憲光(2007)・ダイオキシン2007国際シンポジウム・東京・2007.9 RECENT 25 YEARS TRENDS OF PERFLUOROCTANOATE AND PERFLUOROCTANE SULFONATE LEVELS IN ARCHIVED JAPANESE SERUM SAMPLES DONATED BY THE KYOTO HUMAN SPECIMEN BANK
 齋藤憲光(2007)・日本分析化学会 第286回クロマトグラフィー研究会・東京・2007.12 PFOSの測定と汚染の現状
 佐々木和明(2007)・環境化学討論会・北九州市・2007.6・LC/MSによる化学物質分析法の基礎的研究(27)
 佐々木和明(2007)・ダイオキシン2007国際シンポジウム・東京・2007.9・POLLUTION OF PERFLUOROCTANOATE AND PERFLUOROCTANE SULFONATE IN SURFACE WATER IN JAPAN AND CHINA
 佐々木和明(2007)・PFOS/PFOA問題の効率的処理方法と分析及び新規PFOAフリー製品開発セミナー・東京・2007.9・各種環境試料中のPFOS/PFOAの分析方法
 嶋弘一(2007)・パーティクルボード原料へのCCA廃材チップ混入に関する基礎的研究・全国環境研協議会廃棄物研究発表会・つくば市・2007.11
 鎌田憲光(2007)・GC/MS一斉分析データベースによる汚染物質の解析・環境化学討論会・北九州市・2007.7
 間山秀信(2007)・岩手県のオキシダントについて・第14回大気環境学会北海道東北支部学術集会・盛岡市・2007年10月
 山内貴義・岩手県の野生動物管理・第13回日本野生動物医学会大会・(2007年9月)
 西村貴志*、西山大志*、山内貴義ほか・ニホンカモシカ(Capricornis crispus)の野外糞中DNAによる雌雄判別・第13回日本野生動物医学会大会・(2007年9月)
 山内貴義、齊藤正恵*・クマの生息密度推定法としてのヘアトラップ法~現状と課題「岩手県における実施状況と今後の課題」・日本哺乳類学会2007年度大会・(2007年9月)
 山内貴義、佐藤宗孝*、辻本恒徳*、青井俊樹*・クマ類の保護管理に関するモニタリングの現状と課題「岩手県におけるツキノワグマの保護管理計画の現状と課題」・日本哺乳類学会2007年度大会・(2007年9月)
 山内貴義、工藤雅志*、齊藤正恵*、平野陽・岩手県遠野市に生息するツキノワグマを対象にしたヘアトラップ法の検討・日本哺乳類学会2007年度大会・(2007年9月)
 岡輝樹*、工藤雅志*、山内貴義ほか・水晶球にクマの数は映るか?・日本哺乳類学会2007年度大会・(2007年9月)
 西村貴志*、山内貴義ほか・ニホンカモシカのマイクロサテライトDNA多型解析・日本哺乳類学会2007年度大会・(2007年9月)
 堀野真一*、島田卓哉*、山内貴義ほか・岩手県五葉山地域における4度目のシカ空中センサス・日本哺乳類学会2007年度大会・(2007年9月)
 齊藤正恵*、山内貴義、青井俊樹*・ツキノワグマによる農作物被害痕からの最少加害個体数の推定・日本哺乳類学会2007年度大会・(2007年9月)
 M Saito*, K Yamauchi et al. Identification of individual Asiatic black bears using DNA analysis of collected damaged crops 18th International Conference on Bear Research & Management (Mexico 2007)
 松本文雄(2007)・岩手県における放射能調査・第49回環境放射能調査研究成果発表会・東京都三田共用会議所・2007年12月4日

*: Non staff members.